

高コレステロール血症 (Hypercholesterolemia) (※高LDLコレステロール血症を指す)

・ 血液中のLDLコレステロール値が140mg/dL以上で定義される高LDLコレステロール血症など、血液中のLDLコレステロールが高値であることは動脈硬化性疾患の発症リスクを高める因子である。
 ・ 動脈硬化性疾患の既往についても動脈硬化性疾患の発症(再発)リスクを高める因子であるため、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版」ではこれらの要因を踏まえて脂質管理を行うことが推奨されている。

・ 家族性高コレステロール血症 (Familial Hypercholesterolemia、以下FH)は、高LDLコレステロール血症、早発性冠動脈疾患、腱・皮膚黄色腫を3主徴とする遺伝性疾患である。FHを有する患者は動脈硬化性疾患の発症リスクが高く、「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版」では、FHで動脈硬化性疾患の既往がある場合 (二次予防)のLDLコレステロールの管理目標値は、FHを有さない場合(非FH:非家族性高コレステロール血症)とは異なる値が設定されている(下表)。

・ 「PCSK9阻害薬の継続使用に関する指針」によると、FH患者や動脈硬化性疾患の二次予防の非FH患者に対しては、一般的にスタチンやエゼチミブによる脂質低下療法を行い、それでも効果不十分な場合にはPCSK9阻害薬等による治療が検討される(下図)。

・ インクリシラン(レクビオ)はPCSK9 mRNAを標的とした二本鎖の低分子干渉リボ核酸である。インクリシランは血液中のLDLコレステロール値を下げることを目的とした注射剤であり、心血管イベントの発現リスクが高い、かつHMG-CoA還元酵素阻害剤で効果不十分、又はHMG-CoA還元酵素阻害剤による治療が適さないFH患者または非FH患者を適応に有する。

表: リスク区分別のLDL-C管理目標値
(「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版」をもとに作成)

	リスク区分	LDL-C (mg/dL)
一次予防	低リスク	<160
	中リスク	<140
	高リスク	<120 <100*
二次予防	動脈硬化性疾患の既往	<100 <70**

LDL-C: LDLコレステロール

*糖尿病において末梢動脈疾患、微小血管症合併時、または喫煙ありの場合に考慮

**急性冠症候群、家族性高コレステロール血症、糖尿病、冠動脈疾患とアテローム血栓性脳梗塞の4病態のいずれかを合併する場合に考慮

図: 高コレステロール血症の治療の概略(日本動脈硬化学会「PCSK9阻害薬の継続使用に関する指針」をもとに作成)

